

# 令和6年度美術刀剣製作技術保存研修会 刀職技能訓練講習会 実施報告

刀職技能訓練講習会が本年も無事に開催されました。今回で38回目となる講習会の模様を以下に報告します。

講習会は、例年通り柄下地・刀装金具の2部門が開講され、それぞれ「柄下地の基礎技法」「透鐔の制作(象嵌)」のテーマの下、受講生は技術習得に励ん

柄下地の部 久保純一講師



でおりました。

6月26日には開講式が挙行され、4日間の講習が始まりました。4日間という限られた期間ではありますが、講師の先生方の熱の入ったご指導と、受講生の真摯な姿勢により非常に内容の濃いものとなりました。

刀装金具の部 玉岡俊行講師



最終日の閉講式では、備前長船刀剣博物館の塩田勇館長から挨拶を頂戴し、久保講師より受講生に受講証書が授与され、玉岡講師から講評がありました。玉岡講師からは「刀装金具の掟や道具

閉講式 塩田勇館長



講評 玉岡俊行講師



の使い方も大切であるが、学ぶ姿勢やこれから1年間の修練が重要である」との言葉を頂き、本年度の講習会は無事に終了いたしました。  
講師の先生方には、ご多忙にも関わらず大変熱心な御指導をいただきました。衷心より厚く御礼申し上げます。  
また講習会の実施にあたり数々のお骨折りを頂いた備前長船刀剣博物館の職員の皆様には、この場をお借りして御礼申し上げます。

実施日 6月26日(水)～29日(土)

講師

〈柄下地の部〉柄巻師 久保純一

〈刀装金具の部〉彫金師 玉岡俊行

受講生

〈柄下地の部〉3名

田上友唯  
橋本幸律

〈刀装金具の部〉10名

細川美樹  
浅井優花  
石井瑛湖  
石川雄司  
片山重恒  
桑野冬照  
中山恒久  
前田航汰  
三角恭兵  
武藤 健  
山口正興